

第97号議案

指定管理者の指定について

施設の名称 福井県立馬術競技場

指定管理者候補者選定結果 …………… 1 頁

指定管理者指定申請書

学校法人金井学園 …………… 3 頁

交流文化部

「福井県立馬術競技場」の指定管理者候補者の選定について

福井県立馬術競技場の指定管理者の申請の募集について、福井県立体育施設指定管理者選定委員会の審査結果を踏まえ、指定管理者候補者を次のとおり選定いたしました。

- 1 団体名 学校法人金井学園
- 2 所在地 福井市学園3丁目6番1号
- 3 指定期間 令和8年4月1日から令和13年3月31日までの5年間

4 選定理由

当該団体は、福井県立体育施設指定管理者選定委員会の審査において、福井県立体育施設の設置および管理に関する条例で定める指定の基準に適合しているものと評価されました。

特に、管理実績を有していることや、ナイト営業の実施やインフルエンサーとタイアップして広報するなど利用者増加に向けた取組みなどの提案内容が優れており、福井県立馬術競技場の設置目的を効率的に達成することができ、指定管理者にふさわしいと認められることから、当該団体を指定管理者候補者に選定します。

5 申請団体数

1 団体

- ① 福井市学園3丁目6番1号 学校法人金井学園 理事長 金井 兼

6 選定委員会での審査結果

① 選定委員会委員

山田 孝禎	福井大学教育学部 教授
杉本 一	北陸税理士会 常務理事
山崎 千恵美	福井県レクリエーション協会 理事
渡辺 明美	福井県なぎなた連盟 理事長
児玉 晶香	福井県交流文化部副部長（スポーツ）

② 審査結果

審査基準	配点	申請団体名
		学校法人金井学園
1 県民の平等な利用が確保されていること	適/不適	適
2 馬術競技場の効用を最大限に発揮するものであること <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置目的と事業内容との適合性 ・ 利用者のサービス向上のための取組み内容 ・ 利用者増、利用促進のための取組み内容 ・ 利用料金の設定水準、料金に関する提案内容 ・ 利用者の意見の反映、業務改善への取組み内容 ・ その他、新たな企画提案の有無、内容 ・ 提案した計画の内容の妥当性、実現可能性、持続性 	200	158
3 管理の経費の縮減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理運営に係る県の支出経費 ・ 提案した提示額の妥当性、実現可能性、持続性 	150	150
※ 各団体の申請額（5年間）	上限額 35,165千円	32,626千円
4 馬術競技場の管理を安定して行う能力を有するものであること <ul style="list-style-type: none"> ・ 人的能力（管理運営組織、人員配置等）の内容 ・ 物的能力（収支計画、資金調達、トラブルや危機管理対応、保険対応等）の内容 ・ 申請者の実績（同種の施設の管理運営実績） ・ 申請者の安定性、信頼性（財務状況、資産、提携団体） ・ 業務全般に対する取組み姿勢 ・ 提案した内容の妥当性、実現可能性、持続性 	150	136
総合得点（満点500）	500	444

※ 点数は5名の選定委員の採点の合計点です。

③ 講評

- 審査基準1については、適と評価された。
- 審査基準2については、ナイター営業の実施やインフルエンサーとタイアップしての広報など、利用者増加に向けた取組みなどの提案が評価された。
- 審査基準3については、提案された管理経費は妥当であると評価された。
- 審査基準4については、馬術競技場の現在の指定管理者として現に安定的に運営を行っており、馬術競技の技術指導に必要な指導員を配置できるなど施設運営のノウハウを十分有しているとして評価された。
- 以上の総合的な評価により、学校法人金井学園は、指定管理者の指定の基準を満たしているものと評価された。

- 7 今後、県議会に指定管理者指定の議案を提案します。
 県議会の議決を得た後、正式に指定管理者に指定されます。

令和7年10月6日

福井県知事 様

申請者	主たる事務所の所在地 名称および代表者の氏名	福井市学園3丁目6-1 学校法人金井学園 理事長 金井 兼
-----	---------------------------	-------------------------------------

指定管理者指定申請書

福井県立馬術競技場の管理に関する業務を行いたいので、福井県立体育施設の設置および管理に関する条例第6条第2項の規定により、下記の書類を添えて、申請します。

記

- 1 馬術競技場の管理の業務に関する事業計画書
- 2 定款もしくは寄附行為および登記事項証明書またはこれらに準ずる書類
- 3 申請の日の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表、損益計算書その他財務の状況を明らかにする書類（申請の日の属する事業年度の前事業年度に設立された法人その他の団体にあつては、その設立時における財産目録）
- 4 申請の日の属する事業年度における事業計画書および収支予算書
- 5 役員の氏名、住所および略歴を記載した書類
- 6 馬術競技場の管理の業務を行う組織および運営に関する事項を記載した書類
- 7 現に行っている業務の概要を記載した書類
- 8 馬術競技に関する相当の知識および技能を有することを説明する書類
- 9 国税および地方税について、未納の徴収金がない旨の証明書

別紙様式 2

福井県立馬術競技場の管理の業務に関する事業計画書

1 団体の概要

団体の種別	財団法人 社団法人 株式会社 有限会社 NPO 法人 <input type="checkbox"/> その他(学校法人)			
団体名	学校法人 金井学園			
所在地	福井県福井市学園3丁目6番1号			
代表者名	理事長 金井 兼			
電話番号	0776-22-8111			
FAX 番号	0776-29-7812			
メールアドレス				
設立年月日	昭和 34 年 2 月			
資本金(基本財産)	47,360,963,403 円(令和 7 年 3 月 31 日現在)			
従業員数	令和 7 年 5 月 1 日現在 <input type="text"/> 人			
主な事業内容 (必要に応じ別紙)	私立学校の運営 (大学、高等学校、中学校、専門学校)			
同種の施設の管理運営業務の実績 (必要に応じ別紙)	名称	名称	名称	名称
現に指定管理者の申請を行っている施設 (申請予定を含む) (必要に応じ別紙)	名称	所在地	業務内容	運営期間
	若狭町みさき漁村体験施設	若狭町神子第 1 4 号 4 番地	漁業体験及び漁村滞在	平成 30 年 4 月～現在に至る
提携団体名	(複数の団体により構成されたグループにより申請する場合に記入すること)			

※「団体の種別」は、該当するものを○で囲んでください。

※「同種の施設の管理運営業務の実績」には、馬術競技場の類似施設の管理運営実績を記入してください。

※「現に指定管理者の申請を行っている施設(申請予定を含む)」には、業種の如何を問わず、現に指定管理者申請を行っている施設および今年度中に申請を行う予定の施設のうち、県内に所在する施設について記入してください。

2 管理運営基本方針

福井県立馬術競技場の管理運営を行うにあたっての基本方針

福井県立馬術競技場を指定管理者として管理運営を担うにあたり、下記の基本方針を策定し、それに従った公正・平等かつ公共施設としての公益性を損なわないように厳正な管理運営を行うものとする。

- 1 「福井県立体育施設の設置および管理に関する条例」、「福井県立馬術競技場に関する規則」、「福井県個人情報保護条例」、「福井県外部監査契約に基づく監査に関する条例」、「福井県財務規則」、「福井県指定管理者制度基本条例」等々関係法規の内容を十分に理解し、その法令の規定に基づいた運営を行う。
- 2 県民の体力向上および生涯スポーツの一環としての目的から、レクリエーションの振興等を図り、県民の誰からも愛される乗馬施設（福井ホースパーク）としての役割を持たせる。
- 3 福井県の競技スポーツ（馬術競技）の中心地（拠点・核）としての役割をもたせる。本施設では2018年の福井国体において総合優勝に大きく貢献した優秀な選手を育成している。これからも数多くの優秀な選手を育成すると共に、競技馬の調教・維持管理に努め、さらなる優秀選手を輩出すべく、小学生の段階から「乗馬スポーツ少年団」を結成し、馬術に関する技術指導および知識向上に努め、さらには「心の教育」にも配慮した活動を行う。
- 4 福井県における馬術競技振興の拠点としての活性化に努め、公共施設の公正な管理運営を行う中で利用者のニーズ把握とサービス向上に努めながら、利用者の増加と管理運営経費の削減を図っていく。

上記4点を大きな柱として捉え、積極的な情報の公開（ディスクロージャー）とコンプライアンスを徹底し、地域や関係団体の方々の意見やニーズ等を踏まえたより効率的な管理運営が図れるよう、開かれた施設を目指して運営する。

また、社会的公正や高い倫理観・環境等に配慮し、地域社会や県民等に対して責任ある行動をとるべく業務を推し進めていくことを基本方針とする。

3 管理運營業務計画

※(1)～(4)については年度ごとの取組みが分かるように記載してください。

(1) 利用者へのサービス向上についての取組み

馬とのふれあいの場を提供し、馬の魅力を知ってもらい、馬を身近な存在だと認識してもらおう。また馬術競技の楽しさや面白さ、そして練習すればするほどレベルアップする嬉しさを知ってもらうために質の高いサービスの提供を行う。利用者に対する質の高いサービス提供の取組みとして、親しみやすい「ヒューマンサービス」(人に優しいサービス)の実践と馬術競技場の魅力を最大限にPRし、新たな利用者の開拓とリピーターを増やすことを目指し、利用者への積極的な情報の発信を行う。

- 学内研修等を利用して事務スキルの維持向上に努める。(毎年度)
- 指導者講習会等を利用して接客スキルの維持向上に努め、従業員の士気の維持向上に努力する。(毎年度)
- 屋内馬場等に防犯カメラを設置し、万が一の事故の判断材料や指導の質向上に繋げる。(令和8年度)
- 定期的なアンケート調査を実施し、利用者のニーズ、要望の把握に努める。(毎年度)
- 看板等を取り換え、住民への認知度を上げる。(令和8年度)
- 従業員の知識を集積して、現場の声を管理運営に反映させる。(毎年度)
- 施設を良好な状態に維持し、環境に配慮した管理運営と利用者および業務関係者にもエネルギー削減の情報を提供し「環境教育」に努める。(毎年度)

(2) 施設の利用促進についての取組み

馬術競技場の利用促進を進めるには、広く県民に対し本施設の認知度を高める方策と利用者が将来に亘って利用したいという意識と意欲を喚起させる方策が大切であると考えます。そこで今までも地道に会員やビジターの方からアンケート等で顧客の満足度・不満足度を把握するべく調査や他施設との比較等継続的な追跡調査を行い、何を改善すべきかを分析検討を重ねてきた。その結果として、本質サービス(乗馬に関する技術力・指導力そして安心感等)と表層サービス(常駐スタッフの接遇態度と施設・環境の安全性と雰囲気の高さ等)の充実と改善に取り組み、常により高い乗馬施設を目指し、利用者の増加に繋がるように努める。

- 定期的に体験乗馬キャンペーンやイベントを開催する。(毎年度)
- SNSやHPを活用して、情報発信やファン層の拡大に努める。(毎年度)
- インフルエンサーとタイアップし、宣伝広告掲載を実施し集客を促す。(令和8年度)
- 保育園児や小学校の児童を対象にイベントを行い、幼少時からの馬とのふれあいによる動物をいたわる「心の教育」と愛護精神の醸成に努める。(毎年度)
- 勤労者の施設利用向上のため、夏期期間にナイト乗馬の時間帯を設けて利

利用者の利便性を図り、利用者増に繋げる。(毎年度)

- 子ども園や児童館に馬を連れて行き、出張乗馬体験を定期的を実施する。
(毎年度)

・施設利用大会並びに利用者数の見込みについて

- 越前馬術大会(4月・約100名)
- 春季高等学校総合体育大会馬術競技会(6月・約15名)
- 高等学校新人馬術競技会(10月15名)
- 愛馬の日馬術競技会(9月・40名)
- 県民スポーツ祭馬術競技会(11月・30名)

・利用者数の目標値

令和6年度の利用者数が年間8,500人であったため、下記のように増員を目指す。

- 令和8年度 8,550人
- 令和9年度 8,600人
- 令和10年度 8,650人
- 令和11年度 8,700人
- 令和12年度 8,800人

(3) 施設の維持管理についての取組み

「馬術競技場」の管理運営業務仕様書の基本的な事項を踏まえ、施設及び設備、備品の機能と環境を良好に維持し、サービス提供が常に円滑に行われるよう施設及び設備、備品等の日常点検、保守および法定の環境測定等の保守管理業務を毎年度通じて実施する。

- 浄化槽保守点検・浄化槽法廷点検
- 火災報知機保守点検
- 馬の予防接種の実施
- 開苑時・閉苑時等の日常点検、毎月の定期点検、特別点検(年2回)等の実施。
- 施設、設備機器の保守管理及び操作・監視等。
- 貸出等は「貸出備品管理簿」による管理。
- 清掃業務は日常清掃、定期清掃(毎月)、特別清掃(年2回程度)を実施。
- 動物取扱責任者を選定し、年一回の講習会を受講し動物取扱の業を行う。
- 保安警備業務のため、管理人等による24時間警備を行う。

(4) 利用料金収入の確保、経費削減についての取組み

馬術競技場という一般的には特殊な施設でもあり、乗馬人口もそれほど多くはない競技の特性から利用料金収入の確保は大きな課題である。

そこで、施設の利用促進と快適な施設環境の整備、そして利用者へのサービス向上に努め、新規の顧客確保と利用回転率の向上を目指し、預託馬の増加に努める。

管理運営コスト（光熱水費・委託料・修繕費）の削減のため、光熱水費については利用者へも儉約をお願い徹底的に無駄を無くす努力をする。

修繕費については老朽化が進み多くなってきているが、点検管理を強化し事前に対応し、全てを業者にたよらず出来る事はスタッフが対応するよう努める。

これらは毎年度を通して実施することが重要である。

(5) 利用者の要望等の把握および対応についての取組み

- スタッフが常に利用者から「生の声」を聞き取るように心がけ、利用者のニーズの把握に努める。又、会員との親睦と本音を語る目的で忘年会等の会を年2回開催する。
(毎年度)
- 利用者アンケート箱を設置して、常に利用者の要望・意見を把握できるように努める。(毎年度)
- HPやSNSを活用し、本施設の情報を積極的に発信する。(毎年度)

(6) 目標管理による業務の効果測定についての取組み

- 経営状況は決して安泰ではないため経営目標を明確にし、対応を企画実践するため「運営管理委員会」を開催し、事業計画と結果の本質的な問題点を見つけ出し経営体質強化を図る。(毎年度)
- 学内研修や講習会等を利用して乗馬指導者としての専門技術者教育を計画的に実施し、優秀な乗馬指導者の育成に努める。(毎年2回ずつ程度)
- 有識者（県スポーツ協会並びに県馬連、市馬術協会等）の意見も聞きながら管理運営にあたる。(毎年度)

(7) その他

ア 福井県立馬術競技場の指定管理者を希望する理由

これまで4期にわたり指定管理者として指定を受け、多くの県民の方々に馬の魅力や乗馬の楽しさを理解していただき、老若男女を問わずに乗馬人口も徐々に増加している。乗馬は生涯スポーツでもあり全身運動なため、健康維持や痩身効果、障がい者のリハビリ効果や機能回復として、また幼少には情操教育の一助としても利用されており、今後もこの様なニーズ拡大に更なる貢献をいたしたいと考える。

さらに、福井国体で得たレガシーを活かしながら県内の競技力向上を目指して、本県馬術連盟の拠点（核）としての役割を担い、更なる競技力向上とジュニア選手育成の中心地となるべきだと考える。そして本学園の福井工業大学並びに附属福井高等学校、附属福井中学校所属の選手が顕著な成績をあげており、今後もなお一層の活躍を目指して、県民の方々のご期待とご声援に応えられるよう全力を傾注していく覚悟である。

このように「生涯スポーツの拠点」と「競技力向上と人材育成の拠点」「競技馬の育成」という役割を、県民に愛される公共施設としてこれまで培ってきたノウハウを最大

限發揮し、福井県全体に貢献したいという思いから指定管理者に希望する。

イ 外部委託の方針等

※外部委託の基本的方針および、外部委託を予定している業務の内容、委託先の選定方法等を記載してください。

馬という生き物を扱う特殊性から専門的な資格や技能を持った専門家に業務を委託しなければならない業務がある。業者の選定については本学園管材課にて適正な入札により最も適切な業者の選定を行い実施する。

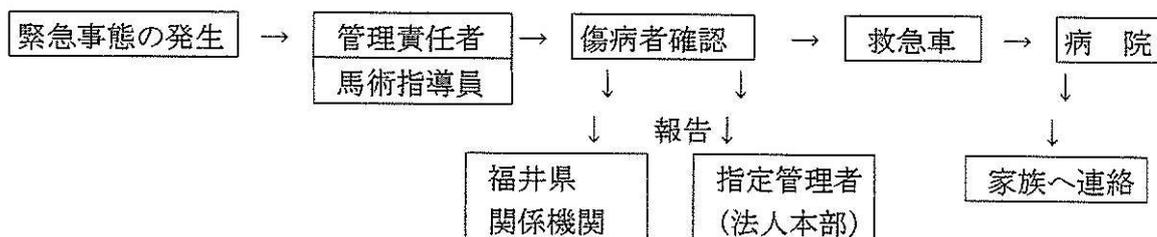
【外部委託業務と業者】

- ① 浄化槽保守点検 福井県環境保全協業組合 福井市角折 8-3
 - ・浄化槽保守点検 年2回(消毒薬補充等)
 - ・浄化槽法定点検 年1回(外観点検、水質点検、書類検査)
 - ・浄化槽汚泥抜き取り清掃 適宜
- ② 火災報知設備保守点検 北陸通信工業株式会社 福井市間屋 2-43
 - ・年2回(機器点検1回、総合点検1回)
- ③ 装蹄 吉田装蹄所 岐阜市塩町 2-48-9
 - ・適宜
- ④ 予防接種土 屋競走馬診療所 石川県河北郡内灘町千鳥台 1-100
 - ・インフルエンザ、日本脳炎 適宜

ウ 緊急時の対応

※事故や災害防止への取組みや、緊急時の体制、対応等について記載してください。

- ① 火災や自然災害時等緊急時の体制
「緊急時の責任体制と組織」の明確化と地方公共団体や警察・消防など、関係機関への連絡・報告・連携体制を確立し、緊急時対応の訓練を定期的実施する。
- ② 施設利用者、参観者等の病気・怪我等の緊急時の体制



- ・乗馬利用者には、傷害保険の加入を義務づける。
- ・AEDの導入
- ・防火管理者の選定

エ 個人情報の取扱いについての考え方

※施設利用者の個人情報の保護について基本的な考え方や情報管理体制等について記載してください。

個人情報の取り扱いについて、個人情報のセキュリティを強化し、個人情報保護に対する組織的な管理運営体制を整備する。さらに、職員に対して定期的な教育的訓練やセキュリティに関する学内研修を受講し、「福井県個人情報保護条例」の規定並びに「福井県個人情報保護条例施行規則」に基づき、適切な個人情報の保護、開示を行うよう全職員に徹底を図る。

○個人情報保護規程に基づき、本学園が保有する個人情報の取り扱いに関し、その収集・保管・利用について必要事項を定め、施設の責務・目的を明確にするとともに、個人情報の適切な保護管理を行う。

○情報管理体制については、金井学園個人情報保護規程を適用する。

オ 地域および関係機関との連携

福井県スポーツ協会、高体連、県馬術連盟、大学等の関係機関等との連携は、公的施設の役割として緊密な関係を維持しながら、各団体主催の大会等に対し運営全般にわたり最大限の協力と支援を行う。また、本県馬術界の技術力向上並びに発展のため、関係団体の要望等も聞き国民スポーツ大会等の全国大会において、福井県代表として活躍できる環境整備に努力する。

一方、本競技場は公園施設としての側面も持っており、地域の住民に広く開放し、「憩いの場」として大いに活用して頂き、各種大会やイベント（遠足・見学等）に関してはホームページ等に記載し利用促進と広報に努める。

カ 自主事業その他の提案

福井県立馬術競技場の設置目的に合致する自主事業の提案や、その他施設の管理運営にあたっての提案があれば記載してください。

福井県立馬術競技場の指定管理者として乗馬クラブ（福井ホースパーク）の管理運営を行う中で下記の様に自主事業を実施する。

① 個人所有馬の委託管理

現在3頭であるが5頭を目指す。

② ナイター乗馬の実施

実施期間：7月から9月の毎週金曜日 19時～21時

目 的：夏の季節暑さを避け、涼しい時間帯にゆつくりと乗馬を楽しめ、仕事帰りに利用できるよう配慮する。

③ 乗馬体験イベント

様々な方に馬を身近に感じてもらい、本施設を知ってもらうことを目的とした乗馬体験イベントを行う。ターゲットを絞り適切な時期や場所を設定し実施する。

④ 施設見学会

地域の住民や保育園・幼稚園・小学校等に対し、施設を見学できる機会を与え、体験乗馬や遠足等の学校行事に活用してもらうよう、広報活動を行い実施する。

⑤ 乗馬スポーツ少年団

小学生・中学生を対象とした「乗馬スポーツ少年団」を結成し、乗馬人口の底辺拡大と生涯スポーツとしての乗馬の楽しみ方を理解させ、引いては国民スポーツ大会の選手育成に努める。

⑥ 国体選手育成コースの設定

本県馬術界の強化策として、国体の有望選手発掘と早期指導により競技力を向上させ、全国に通用する技術力を身につけさせるために、騎乗料等を免除するなど特別措置をとり強化を図る。

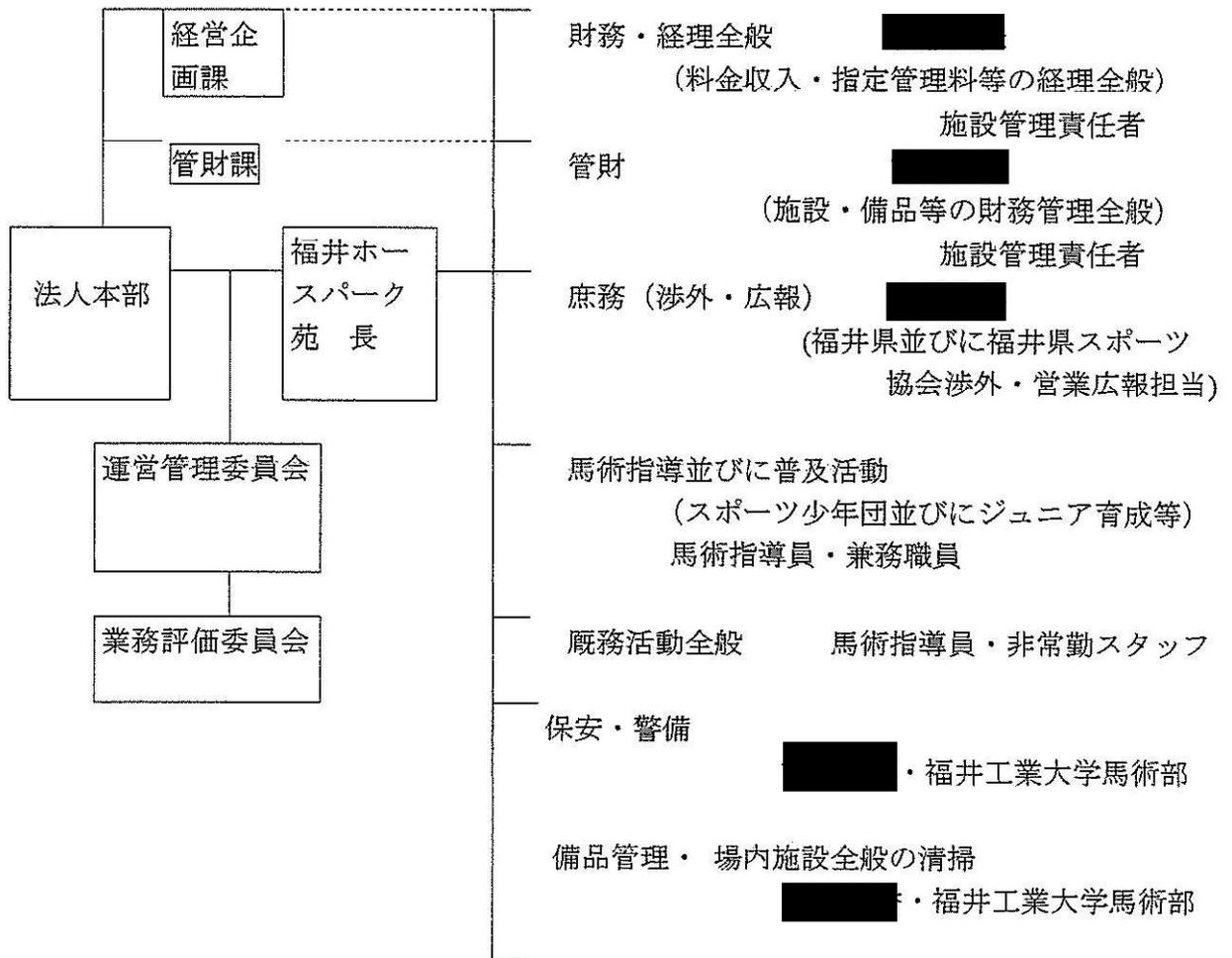
⑦ ホースパーク内だけでなく、幼稚園等に出張し乗馬体験教室を行う。

出張乗馬を現在4園実施しているが6園を目指す。

4 組織および運営体制

(1) 管理の業務を行う組織

※管理の業務を行う組織の組織図および特徴等を記載してください。



(2) 人員配置、業務内容および勤務体制等

※管理の業務を行う組織のすべての職員の職種、雇用関係、業務内容、人件費見込額、勤務体制（勤務時間・休日設定）等を記載してください。

施設の管理上、配置が義務付けられている資格等については、資格等の名称と有資格者の氏名を列記してください。

①「人員配置表」

役職 氏名	主たる担当業務	能力・資格 ・実務経験等	雇用形態				職員 勤務時間 (時/週)	備考
			正 規	嘱 託	非 常 勤	兼 務		
苑 長 [REDACTED]	・施設管理責任者 ・苑内全般の マネジメント業務 ・福井県、関係団体 等の連絡、調整 ・インストラクター ・動物取扱責任者 ・防火管理責任者	・日本馬術連盟認定 準コーチ・3級審判員 A級騎乗者認定資格 コースデザイナー ・全国乗馬倶楽部振興協 会認定指導者資格 ・日本体育協会公認 馬術コーチ	○				40/1 休日設定 月・木曜	法人本部 職員
馬術指導員 経理・財務担当 [REDACTED]	・経理担当（集金） ・インストラクター ・苑内庶務・広報担当 ・スポーツ少年団担当	・日本馬術連盟認定 準コーチ・3級審判員 B級騎乗者認定資格 ・全国乗馬倶楽部振興協 会認定指導者資格	○				40/1 休日設定 月・金曜	法人本部 職員
[REDACTED]	・苑内の備品管理維持及 び日常・定期特別清掃 等担当・厩舎担当			○			40/1 休日設定 火・日曜	法人本部 臨時職員
馬術指導員 [REDACTED]	・インストラクター ・渉外・広報活動	・日本馬術連盟認定 準コーチ・3級審判員 B級騎乗者認定資格 ・全国乗馬倶楽部振興協 会認定指導者資格				○		(現職) 福井工業大学 入試広報課
保安・警備 非常勤スタッフ	・保安警備業務 (含宿直業務) ・清掃業務(定期・特別)	福井工業大学 馬術部員			○			

※ 施設管理者・馬術指導員の3名を常駐させ、苑内の施設・備品等の管理業務を行い馬術指導並びに顧客対応に遺漏なきように万全を期する。

また、24時間体制の保安、警備を行うために福井工業大学馬術部の協力を得て、最低1名の宿直管理業務を実施し、さらに1名の兼務職員スタッフによる休祝日等での支援によってより安全性と信頼性を担保すると共に正規職員の労働条件緩和に努める。

但し、休日設定に関しては、原則下記のように設定するが大会やイベント等の関係上

変更する場合がある。また、労働基準法等に準じ過重労働にならないように対応する。

②「開苑時間等」

区 分	開苑時間・休苑日
開苑時間	午前8時30分～午後5時15分まで 午前8時30分～午後9時まで（ナイター営業：7月～9月）
休館日	月曜日（月曜が祝日の場合は翌火曜） 12月29日～1月3日まで
備 考	但し、大会やイベント・事業等を行うときは、休苑日・時間を変更する場合がある

(3) 職員研修および人材育成方針

※業務を行う職員の業務水準を維持、向上させる方策について記載してください。

利用者に安全で明るく、楽しく、気持ちよく施設を利用していただくには、常駐スタッフのマナー（言葉づかいや接遇態度等）向上は大変重要な要素だと考え、利用者が「また、来てみたい」と感じる対応ができるスタッフの育成を行うために、下記のような職員研修および人材育成を次のように行う。

○社会人としての基礎教育

金井学園内にて毎年数回実施される職員研修に積極参加し、専門的な知識や能力だけでなく、社会人としての基礎能力向上も目指す。社会人としての基本を以って接客等の業務を円滑に遂行できるよう考え努める。

○技術教育（専門的教育）

職員の高い技術力（管理経営能力・乗馬技術等）の維持、向上のために年間を通して、日本馬術連盟公認の審判講習会や騎乗者資格認定の講習会、（社）全国乗馬倶楽部振興協会認定乗馬指導者資格の維持更新を行い技能向上に努る。乗馬の基礎訓練、接客マナー、乗馬指導者の心得、乗馬安全マニュアルを学ぶため、指導者講習会にスタッフを参加させる。

5 令和8～12年度までの収支計画

収 入

(単位:千円)

項目	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	合 計	備考
事業収入	24,520	25,648	26,828	28,062	29,353	134,411	
雑収入	1,550	1,560	1,570	1,580	1,590	7,850	
その他の収入							
計 (A)	26,070	27,208	28,398	29,642	30,943	142,261	

支 出

(単位:千円)

項目	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	合 計	備考
人件費	17,550	18,392	19,275	20,200	21,170	96,587	
管理費	12,560	12,570	12,580	12,590	12,600	62,900	
維持費	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	8,500	
事務費	1,380	1,380	1,380	1,380	1,380	6,900	
その他の支出							
計 (B)	33,190	34,042	34,935	35,870	36,850	174,887	

差引 (B) - (A)	7,120	6,834	6,537	6,228	5,907	32,626	
--------------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--

この金額が、福井県が指定管理者に支払う委託料（消費税および地方消費税額を含む）となります（募集要項で定められた上限額を超えないこと）。

※積算根拠を備考欄または別紙に記載してください。

※消費税および地方消費税を含めた金額を記載してください。消費税は10%で計算してください。